

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20801	庁舎管理費	担当課	財務部 管財課	内線	2462
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	7 構想的着実な推進をめざして	
	款	2 総務費		分野	2 行財政運営	
	項	1 総務管理費		基本施策	1 簡素で効率的な行政運営を行う	
	目	8 財産管理費		施策	2 行政能力の向上	
実施計画事業	本庁等管理事業					
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	受益者数	人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	地域住民及び職員が安心して庁舎を利用できるように、引き続き利用可能な状態に維持する。	
概要	事業の実施手法(手段)	・市庁舎及び支所の設備管理、清掃等を実施することにより安全な庁舎利用ができる状態を維持する。 ・省エネ、リサイクルの推進により、光熱水費等、庁舎維持管理に係るコストの削減を図る。	
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 庁舎利用可能日数		日	目標値	365	365	365
			実績値	365	365	365	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
		実績値					-
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 庁舎会議等使用率	%	目標値	365	365	365	365
実績値			279	282	365	-	
算出根拠等	使用日数/使用可能日数		達成率(%)	76	77	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
		実績値					-
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			256,465	272,499	308,293	277,000
	財源内訳	使用料等(庁舎使用料、貸付収入)		49,687	47,599	68,867	50,000
		一般雑入(事務所等使用雑入)		10,755	11,619	10,293	10,000
		一般財源		196,023	213,281	229,133	217,000
コスト面	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1人あたり(円)(A/B)	(A/B)					
		(B)					
	②						
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・本庁等管理事業は、総合計画及び市長の公約に位置づけられており、施設を利用可能な状態に保つことは、市民サービスの向上を図る上でも必要性が高い。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	市庁舎及び支所は、行政情報の提供の場となっており、市民の庁舎会議室等の利用も多く、ニーズは高い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	建物の安全を維持することは、利用する市民及び職員の安心感をもつことにつながるため、市民への影響は高い。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	庁舎を利用する市民も非常に多く、成果は概ね達成している。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	省エネの推進のため、エコオフィス推進員を全施設に配置し、温室効果ガスの削減に努めている。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	施設の老朽化等により、修繕を必要とする器具がでてきているが、修繕計画と併せて優先度の高い物から修繕を行っている。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	高山市地球温暖化実行計画に伴い、温室効果ガス排出量を3%削減するために、冷暖房機器の使用量削減や照明機器の一部取り外しなどを行い、コスト削減を図る。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	評価対象外	光熱水費に係るコストは年々縮減傾向にある。評価項目に該当しないため評価対象外とした。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	庁舎の維持管理や清掃等、委託できるものはしているが、職員が自ら出来ること(エコオフィスの推進など)を徹底し、コスト削減を図る。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	13.0 / 18.0	100点換算	72 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	省エネ、リサイクルの推進のため、各施設のエコオフィス推進員が中心となり、エネルギー使用量の削減やごみの分別による減量化に取り組んでいるが、今後更に、ランニングコストの削減に努める。 また、H23には災害時に停電になった場合の支所機能を確保するため、自家発電機設備の設置を進めており、今後も更に安全な庁舎管理に努める。				

総合評価 (二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・省エネ化をはじめとするランニングコストの縮減や、防災機能の充実など社会的要請への対応を進める必要がある。				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	291,293	296,324	5,031	297,159	297,159
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	79,160	76,052	△ 3,108	76,352	76,352
一般財源	212,133	220,272	8,139	220,807	220,807

予算要求の概要	市庁舎の維持管理
要求額増減理由	国府支所にかかる委託料の増
事業実施の課題	省エネ・リサイクルの推進によるランニングコスト削減

財務部査定の考え方	・旧国府支所庁舎等の廃止に伴う維持管理費の減 ・庁舎維持修繕事業費を統合
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20810	車両管理費		担当課	財務部 管財課	内線	2463
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	7	構想的な推進をめざして
	款	2	総務費		分野	2	行財政運営
	項	1	総務管理費		基本施策	1	簡素な効率的な行政運営を行う
	目	8	財産管理費		施策	2	行政能力の向上
実施計画事業							
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	受益者数	人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	効率的な運用を実施し、車両台数の適正化を図る。低公害車の導入を促進する。	
概要	事業の実施手法(手段)	市有車両、リース車両を保有管理し、市全体の効率的な配置をする。新規車両の導入にあたっては、低公害車の導入を促進する。	
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 車両台数		台	目標値	578	565	555
実績値				579	560	550	
算出根拠等	目標値=削減計画		達成率(%)	100	101	101	
成果面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22見込	H23見込	H24計画
	② 低公害車の導入	%	目標値	22	12	13	
実績値			20	5	6		
算出根拠等	全導入車両数÷低公害車導入数		達成率(%)	91	42	46	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①		目標値				
実績値							
算出根拠等			達成率(%)				
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値							
算出根拠等			達成率(%)				
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			80,399	42,793	44,973	-
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト指標	一般財源			80,399	42,793	44,973	
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1人当たり(円)(A/B)						
	② 受益者	(B)					
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	評価対象外	公用車の削減により、経費削減を行うことができる。低公害車の導入により燃料費の削減、温室効果ガスの削減に寄与する。
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	評価対象外	事業の目的及び概要による。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	A	評価項目①の説明と同じく、購入方法及び管理方法等により、経費削減を行うことができる。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B	・台数削減は十分達成している。 ・低公害車導入については、車種により適合車がないため、十分に達成しているとはいえない。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B	経費削減を達成しているが、車両台数の削減が必ずしも市民サービスの向上につながらない場合もある。
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	車両の効率的な配置等により経費削減に取り組んでいる。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	低公害車など燃費の良い車両の導入、車両の効率的な配置による台数削減に取り組んでいる。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	評価対象外	適正な車両配置及び導入を行っている。評価項目に該当しないため評価対象外とした。
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	車両の稼働率が非常に高いことから、適正である。
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	10.0 / 14.0	100点換算 → 71 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	引き続き効率的な運用を実施し、車両台数の適正化を図る。低公害車の導入を促進する。				

総合評価 (二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・安全運行のための車両整備や集中管理による運用効率化などの適正管理を続けるほか、定員適正化計画の進捗を踏まえた 車両配置計画の見直し、ハイブリッドカーや電気自動車の導入など地球温暖化対策に引き続き取り組む必要がある。				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	44,973	47,333	2,360	46,766	46,766
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	1	1	0	1	1
一般財源	44,972	47,332	2,360	46,765	46,765

予算要求の概要	車両の適正管理のための経費を計上
要求額増減理由	車検費用の増 自賠責保険料改定による増
事業実施の課題	職員数及び業務内容に応じた車両の配置見直し 低公害車の導入による地球温暖化ガス削減に向けた取組み

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・低公害車の導入
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20820	市営墓地管理費		担当課	財務部 管財課	内線	2461
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	2	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	2	総務費		分野	6	環境・衛生
	項	1	総務管理費		基本施策	1	快適に暮らせる環境を整備する
	目	8	財産管理費		施策	4	公衆衛生の向上
実施計画事業	市営墓地管理事業						
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	墓地使用者	受益者数	4,700 人
目的	市営墓地の維持管理 清掃や支障木の処理を徹底することによって、終のすみかとして平穏な場所となるよう適正な管理を行う。		
概要	市営墓地内の通路清掃、草刈、支障木の伐採		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 市営墓地使用者募集	目標値	回		2	2	2
実績値				2	2	2	-
算出根拠等	募集回数		達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	② 市営墓地区画数	区画	目標値	4,700	4,809	4,809	4,809
			実績値	4,671	4,682	4,690	-
算出根拠等	墓地使用者		達成率(%)	99	97	98	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 永代使用許可実績	区画	目標値	8	8	8	8
			実績値	15	15	15	-
算出根拠等	許可区画数		達成率(%)	188	188	188	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
			実績値				-
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト内訳	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出 (千円) (A)		1,500	5,725	1,550	1,500	
	受益者負担(使用料・負担金等)		1,215	2,481	1,550	1,500	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		285	86			
一般財源			3,158				
コスト指標	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1人当たり(円) (A/B)		321	1,223	330	319	
	受益者 墓地使用者 (B)		4,671	4,682	4,690	4,695	
	算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	公衆衛生向上の観点から市営墓地管理を行い、23年度上期から宇津江墓地造成区画の募集を開始し、市民ニーズに応えている。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	B	墓地内通路の清掃、支障木除去の希望がある。新規の墓地使用者募集では、年15件程度申し込みがあり、今後も造成により継続的な申し込みが予想される。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	C	墓地使用者
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	広報たかやま等を活用したマナー啓発により、ゴミの放置が少なくなった。墓地使用者募集では、抽選となる区画もあり、目標を達成している。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	広報、ホームページによる使用者募集を実施。墓地敷地内に看板を設置しマナー向上の啓発
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	利用者からの要望に応え、通路等の整備を実施。宇津江墓地の区画造成実施。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	看板設置や広報により清掃やごみの持ち帰り等、市民のマナー向上を図り、清掃等のコスト縮減に努めている。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	事業の性格から判断して、受益者1人当たりのコストは適正である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	公衆衛生上市営墓地内の清掃等のコストとして適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	14.0 / 20.0	100点換算 → 70 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	通路清掃、草刈、支障木の伐採を行い公衆衛生の向上に努める。新規の墓地使用者募集を引き続き実施し、市民ニーズの対応を図る。				

総合評価 (二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出 (千円)	1,550	1,550	0	1,550	1,550
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	1,550	1,267	△ 283	1,260	1,260
一般財源	0	283	283	290	290

予算要求 の概要	墓地の清掃、草刈、支障木の除去などの管理
要求額 増減理由	
事業実施 の課題	

財務部査定 の考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20825	庁用事務管理費		担当課	財務部 管財課	内線	2462
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	7	構想の着実な推進をめざして
	款	2	総務費		分野	2	行財政運営
	項	1	総務管理費		基本施策	1	簡素な効率的な行政運営を行う
	目	8	財産管理費		施策	2	行政能力の向上
実施計画事業							
市長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	受益者数	人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	市庁舎で使用する事務消耗品及び事務機器について、適正な管理等により経費節減を行う。グリーン購入を推進し、環境に配慮した購入を行う。	
概要	事業の実施手法(手段)	コピー用紙、印刷機インク等事務用消耗品の購入 事務用封筒印刷 事務機器の修繕、借上 グリーン購入の推進	
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	コピー用紙(再生紙)の購入	枚	目標値	13,447,000	13,228,500	14,925,000
実績値		12,708,500	12,717,000	13,693,500			
算出根拠等	目標値=予算時の算出枚数	達成率(%)	95	96	92		
成果面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22見込	H23見込	H24計画
	②	グリーン購入適応品購入割合(管財課購入分)	%	目標値	100	100	100
算出根拠等	全購入数÷適応品購入数	達成率(%)	100	100	100	100	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①		目標値				
算出根拠等		達成率(%)					
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
算出根拠等		達成率(%)					
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額		
	歳出(千円)(A)	27,287	26,034	30,470	-		
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)	27,287	26,034	567			
コスト指標	一般財源	0	0	29,903			
	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画		
	① 受益者1人当たり(円)(A/B)						
	② 受益者(B)						
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	評価対象外	
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	評価対象外	
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	評価対象外	
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	評価対象外	
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	評価対象外	
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	評価対象外	
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	評価対象外	
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	0.0 / 0.0	100点換算 → / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・事務機器の適正な使用及び配置 ・印刷の使用枚数により、事務機器を使い分けるよう周知を継続。 ・事務機器を長く使用できるよう、正しい使い方について周知。 ・交換部品のない使用年数の長い事務機器を更新。				

総合評価 (二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・維持管理や更新を適正に行うとともに、機器の配置見直しや印刷の総量減などによるコスト縮減、事務用封筒への広告掲載など自主財源の確保に引き続き取り組み、簡素で効率的な行政運営を推進する必要がある。				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	30,470	33,730	3,260	32,170	32,170
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	567	640	73	441	441
一般財源	29,903	33,090	3,187	31,729	31,729

予算要求の概要	庁用事務に必要な消耗品、備品等の購入及び借上
要求額増減理由	器具修繕料の増
事業実施の課題	事務機器の適正な配置及び管理による経費節減

財務部査定の考え方	・経年劣化した事務用備品の計画的更新による増
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20830	市有物件関係事務費	担当課	財務部 管財課	内線	2461
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	7 構想の着実な推進をめざして	
	款	2 総務費		分野	2 行財政運営	
	項	1 総務管理費		基本施策	1 簡素で効率的な行政運営を行う	
	目	8 財産管理費		施策	3 行政改革の推進	
実施計画事業						
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	受益者数
	どういう状態にしたいのか(意図)	市有財産(建物等)の火災・災害時の財政負担の軽減
概要	事業の実施手法(手段)	火災・損害等のための損害保険加入(全国市有物件災害共済会等)
前回の評価からの改善・改革のポイント		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 加入状況	加入件数	件	目標値	1,679	1,643	1,641
実績値				1,679	1,643	1,641	-
算出根拠等		加入件数	達成率(%)	100	100	100	-
成果面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
			実績値				-
算出根拠等		達成率(%)				-	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①		目標値				
			実績値				-
算出根拠等		達成率(%)				-	
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①		目標値				
			実績値				-
算出根拠等		達成率(%)				-	
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)	(A)	23,637	23,115	24,000	-	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
一般財源		23,637	23,115	24,000			
コスト指標	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1人当たり(円)	(A/B)					
		受益者	(B)				
	②						
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	評価対象外	
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	評価対象外	
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	評価対象外	
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	評価対象外	
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	評価対象外	
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	評価対象外	
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	評価対象外	
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	0.0 / 0.0	100点換算 → / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	市有財産(建物等)の火災・災害等の防止と火災・災害時の財政負担の軽減				
総合評価 (二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	(担当課評価に同じ)				
議会からの 提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	24,000	19,540	△ 4,460	19,500	19,500
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	24,000	19,540	△ 4,460	19,500	19,500
予算要求の概要	市有財産(建物等)の建物総合損害共済への加入				
要求額増減理由	保険料の改定による減				
事業実施の課題					
財務部査定の考え方	・要求どおり				
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに				

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20835	財産管理関係事務費	担当課	財務部 管財課	内線	2460
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	7 構想の着実な推進をめざして	
	款	2 総務費		分野	2 行財政運営	
	項	1 総務管理費		基本施策	1 簡素で効率的な行政運営を行う	
	目	8 財産管理費		施策	3 行政改革の推進	
実施計画事業						
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	受益者数
	どういう状態にしたいのか(意図)	市有財産(普通財産)の適正な管理
概要	事業の実施手法(手段)	市有財産(普通財産)の適正な管理を行う 不要な財産については、測量等を実施の上、公売等により売却を進める
前回の評価からの改善・改革のポイント		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値				
				実績値				-
				達成率(%)				-
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値				-
				実績値				-
				達成率(%)				-
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値				-
				実績値				-
				達成率(%)				-
コスト面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値				-
				実績値				-
				達成率(%)				-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)				72,334	160,290	77,569	-
	使用料等(市営墓地使用料、貸付収入ほか)				1,460	0	5,458	
	一般雑入(職員駐車場使用料・賠償責任保険金等)				7,067	8,965	4,426	
	一般財源				63,807	151,325	67,685	
コスト指標	①	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
		受益者1人当たり(円)(A/B)						
		受益者	(B)					
		算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	評価対象外	
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	評価対象外	
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	評価対象外	
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	評価対象外	
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	評価対象外	
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	評価対象外	
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	評価対象外	
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計		0.0 / 0.0	100点換算 → / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	市有財産(普通財産)の適正な管理を行う 財産の有効活用を図り、不要な財産については公売による売却等を進める				

総合評価 (二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・未利用施設の有効活用を図る一方で、不要施設の処分(解体・売却等)を進めるなど、課題を有する市有財産については、統一的な考え方のもとで解決していく必要がある。 ・市有財産の活用計画及び解体計画を策定する必要がある。				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	77,569	53,717	△ 23,852	38,141	38,141
財源内訳					
国庫支出金		4,000	4,000	4,000	4,000
県支出金					
起債					
その他	9,884	10,546	662	10,610	10,610
一般財源	67,685	39,171	△ 28,514	23,531	23,531

予算要求の概要	市有財産の適正管理のための経費及び売却に向けた測量等の実施
要求額増減理由	解体工事の減
事業実施の課題	財産の有効活用を図り、不要な財産については売却等を進める

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・丹生川緑地センター解体工事費の減
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20857	庁舎維持修繕事業費		担当課	財務部 管財課	内線	2462
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	7	構想の着実な推進をめざして
	款	2	総務費		分野	2	行財政運営
	項	1	総務管理費		基本施策	1	簡素で効率的な行政運営を行う
	目	8	財産管理費		施策	2	行政能力の向上
実施計画事業	庁舎施設等維持修繕・改修事業						
市長の約束	10	市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います。					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	受益者数	人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	市庁舎及び支所の継続的な維持修繕を行うことにより、来庁者への行政サービスの向上を図る。	
概要	事業の実施手法(手段)	・本庁舎、高山市保健センターの定期調査及び報告を実施する。(各種法令に伴うもの) ・施設の設備運転保守委託業者と毎朝5分程度の打ち合わせを行い、修繕箇所の早期発見及び修繕を実施する。	
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント		

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 修繕完了箇所数		箇所	目標値	6	4	3
実績値				6	4	3	-
算出根拠等	達成率(%)			100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値						-	
算出根拠等	達成率(%)						-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 整備率	%	目標値	6	4	3	3
実績値			6	4	3	-	
算出根拠等	修繕完了/修繕予定			100	100	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値						-	
算出根拠等	達成率(%)						-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)	(A)	9,758	1,843	13,000	10,000	
	使用料(庁舎使用料)		199	182	0	0	
	一般雑入(事務所等使用料)		109	0	0	0	
	一般財源		9,450	1,661	13,000	10,000	
コスト指標	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1人あたり(円)	(A/B)					
		受益者	(B)				
	②						
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	B	・総合計画に位置づけられており、施設を健全に保持することは、地域住民への行政サービス向上に繋がり、市の施設及び支所の改修を進める上でも必要性は高い。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	評価対象外	施設の保持は常に行っており、評価対象外とする。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	評価対象外	施設の保持は常に行っており、評価対象外とする。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	突発的な修繕等があったが、成果指標の目標値を概ね達成している。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	保守委託業者と打ち合わせを行うことにより、専門分野への対応や、適正なコストでの修繕を行うことができることは、市民と行政との信頼関係を構築する上で有効である。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	評価対象外	施設の維持修繕は早期対応をしており、評価項目に該当するものはないため、評価対象外とする。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	修繕箇所の優先順位を明確にし、不要な修繕とならないよう、機器の対応年数の把握や、修繕箇所の専門分野の打ち合わせを保守事業者と徹底することで、コスト削減を図っている。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	評価対象外	施設を健全な状態で保持するために、早期修繕等対応している。評価項目には該当しないため、評価対象外とする。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	投入したコストに見合った修繕が出来ているものの、突発的な修繕もあり、今後更に適正な修繕計画を作成する必要がある。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	8.0 / 12.0	100点換算 → 67 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	来庁された地域住民の安全を最優先するため、修繕箇所の早期対応を行っているが、今後更に総合計画に合った予算編成、修繕計画の見直しを行い、今後も健全な維持修繕に努める。				

総合評価 (二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・庁舎の突発的な修繕対応を行うほか、消耗品の交換や機器の更新など、計画的な維持修繕を進めることにより、施設の機能向上や長寿命化、ローコスト化を図る必要がある。				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	13,000	25,431	12,431	0	0
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	13,000	25,431	12,431	0	0

予算要求の概要	庁舎修繕
要求額増減理由	施設修繕
事業実施の課題	修繕計画に沿った計画的な維持管理及び施設の長寿命化によるコスト削減

財務部査定 の考え方	・庁舎管理費に統合
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20865	出えん金	担当課	財務部 管財課	内線	2462
予算	会計	1 一般会計	総合計画	政策	7 構想の着実な推進をめざして	
	款	2 総務費		分野	2 行財政運営	
	項	1 総務管理費		基本施策	1 簡素で効率的な行政運営を行う	
	目	8 財産管理費		施策	2 行政能力の向上	
実施計画事業						
市長の約束						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	受益者数	人
	どういう状態にしたいのか(意図)		
概要	事業の実施手法(手段)	岐阜県信用保証協会への出えん 県内自治体が安全な保証の確保のため出えんするもの (保証債務残高・企業者数により按分)	
前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①			目標値			
実績値							
算出根拠等			達成率(%)				
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値				
実績値							
算出根拠等			達成率(%)				
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①		目標値				
実績値							
算出根拠等			達成率(%)				
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①		目標値				
実績値							
算出根拠等			達成率(%)				
コスト内訳	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)	(A)	191	124	131		
コスト指標	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1人あたり(円)	(A/B)					
	② 受益者	(B)					
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	評価対象外	
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	評価対象外	
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	評価対象外	
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	評価対象外	
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	評価対象外	
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	評価対象外	
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	評価対象外	
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	評価対象外	
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	0.0 / 0.0	100点換算 → / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
議会からの 提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	126	131	5	131	131
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
一般財源	126	131	5	131	131

予算要求の概要	
要求額増減理由	
事業実施の課題	

財務部査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに